

日本史

(解答番号 1 ~ 38)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

日本の古代史において権力闘争の「敗者」とされることが多いのが、大伴氏である。大伴氏は、^(a)雄略天皇の代から、大連として政治の中樞を担った。しかし、^(b)6世紀前半に大伴金村が対外政策の失敗により失脚すると、大伴氏はその地位を失った。とはいえ、大伴氏は依然として有力な氏族であった。このことは、例えば、7世紀中ごろに大伴長徳が右大臣となったことなどからもうかがわれる。

7世紀後半に が起こると、大伴氏は大海人皇子に味方し、勝利に貢献した。その後、^(c)大海人皇子は天皇に即位し、律令国家の確立に向けて政治改革を推し進めた。7世紀末以後も、大伴氏は、国政の審議に参与する人材を輩出した。例えば、大伴安麻呂が^(d)元明天皇の治世下で大納言に任じられたほか、安麻呂の子も大納言となった。なお、安麻呂の子は、「令和」の由来となった梅花の宴の主宰者としても知られる。

しかし、奈良時代中期以後、大伴氏は権力闘争に巻き込まれ、徐々に勢力を失っていく。まず、橘氏が^(e)藤原仲麻呂を倒そうとするも逆に鎮圧される事件が起こると、大伴氏から多数の処分者が出た。また、藤原種継暗殺事件が起こると、皇太子の が地位を追われただけでなく、 と関係が深かった大伴氏の人々も処分を受けた。

平安時代初期には大伴氏は衰退傾向にあったが、高い地位を得る者もいた。例えば、大伴弟麻呂は、^(f)征夷大將軍となり、副將軍に蝦夷を討たせ、この功績により従三位にまで昇った。また、大伴氏が伴氏へと改称したころには、伴国道が参議となった。

しかし、9世紀なかばに伴健岑と らが皇太子を東国に連れだし、謀反を企てたとして流罪となる事件が起こると、伴氏の勢力が削がれた。その後、国道の子である伴善男が大納言の地位に昇るも、 をきっかけにして流罪とされた。これにより、伴氏の没落は決定的となった。他方、権力闘争の「勝者」である藤原氏から見れば、これらの事件は、^(g)藤原氏が天皇の外戚として政治の実権を握る道を開く大きなきっかけとなった。

伴氏没落以後の時代においても、伴氏やその所縁の者が各地で活躍することはあった。例えば、 が出羽の豪族である清原氏の内紛に介入し、これを鎮圧した際、伴資兼が、 に従って戦功をあげたとされる。また、伴為房の娘を母に持つ北条時政は、^(h)執権として鎌倉幕府の実権を握ったことでよく知られている。

問 1 文中の空所 Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 承久の乱 ② 乙巳の変 ③ 壬申の乱 ④ 薬子の変

問 2 文中の空所 Bに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 早良親王 ② 長屋王 ③ 刑部親王 ④ 額田王

問 3 文中の空所 Cに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 菅原道真 ② 藤原冬嗣 ③ 和気清麻呂 ④ 橘逸勢

問 4 文中の空所 Dに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 応天門の変 ② 安和の変
③ 鹿ヶ谷の陰謀 ④ 阿衡の紛議

問 5 文中の空所 Eに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 平将門 ② 源義家 ③ 平忠常 ④ 源頼義

3 (日本史)

問6 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

6

- ① 「魏志」倭人伝には、この人物が、魏の皇帝から親魏倭王として冊封されたことが記録されている。
- ② 『宋書』倭国伝には、この人物が、宋の皇帝から倭国王武として冊封されたことが記録されている。
- ③ 大仙陵古墳出土の鉄剣銘には、この人物をあらわす大王名とその統治を助けた豪族名が記されている。
- ④ 江戸時代に、博多近郊にある志賀島から、この人物をあらわす大王名が記された金印が出土している。

問7 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

7

- ① 朝鮮半島に大軍を派遣し、隋・新羅連合軍に大敗したことが、この人物の失政とされた。
- ② 隋に臣属しない形式の国書を送り、隋の皇帝の怒りを招いたことが、この人物の失政とされた。
- ③ 百済が伽耶西部の地域に対する支配権を確立したことが、この人物の失政とされた。
- ④ 高句麗に敵対した結果、高句麗と結んだ磐井の反乱を招いたことが、この人物の失政とされた。

問8 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

8

- ① 憲法十七条を定めて、豪族たちに対して、国家の官僚として守るべき心構えを説いた。
- ② 八色の姓を定めて、天皇家を中心とした新しい身分秩序のもとに、豪族たちを再編成した。
- ③ 庚寅年籍を作成して、6年ごとに戸籍をつくる制度を確立し、人民を支配する基礎を整備した。
- ④ 太占の法を定めて、神々の祭祀を司る神祇官に配属された官人の位階や昇進の制度を定めた。

(日本史) 4

問9 下線部(d)の時期に行なわれた政策についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

9

- ① 檢非違使という役職を新たに設けて、宮都の警察や裁判を担当させた。
- ② 藤原京から、唐の都である長安を参考にした宮都である平城京へと都を移した。
- ③ 国家の安定をはかるために国分寺建立の詔を出し、諸国に国分寺をつくらせた。
- ④ 人口増加により口分田が不足するようになったため、三世一身法を施行した。

問10 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

10

- ① 西大寺の造営や百万塔の製作をはじめ、唐を模倣した仏教的政治を行なった。
- ② 孝謙天皇から恵美押勝の名を賜り、権力を独占し、太政大臣にまで昇った。
- ③ 吉備真備や玄昉の排斥を求めて九州で大規模な反乱を起こしたが、鎮圧された。
- ④ 光明皇太后の信任を得て権力を握ると、藤原不比等が編纂した養老律令を施行した。

問11 下線部(f)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

11

X 坂上田村麻呂は、北方に胆沢城を築いて、鎮守府を多賀城から胆沢城に移した。
Y 鎌倉時代には、源氏ではなく、皇族出身の者が征夷大将軍となることもあった。

- ① X — 正 Y — 正
- ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正
- ④ X — 誤 Y — 誤

問12 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 12

- ① 摂政・関白の地位をめぐり、藤原兼通・兼家兄弟や藤原道長・頼通親子の争いが起こった。
- ② 藤原氏が摂政・関白として政治を取り仕切った時期は、のちに延喜・天曆の治と称えられた。
- ③ 摂関政治が行なわれたころ、天皇が幼少の時は関白を置き、成人すると摂政を置くのが慣例とされた。
- ④ 摂関政治のもとでも、天皇が太政官を通じて、中央・地方の官吏を指揮するかたちをとっていた。

問13 下線部(h)の役職に就いた人物に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 13

- ① 北条時政は、建武式目を制定して、武家独自の規定を定めた。
- ② 北条時政は、執権を補佐する連署を置いて、幕府の政治にあたらせた。
- ③ 北条時頼は、引付を設置し、公平で迅速な裁判制度の確立に努めた。
- ④ 北条時頼は、御家人の窮乏を救うため、永仁の徳政令を發布した。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

屏風に描かれた風俗は、喪われた都市文化の覗き窓ともいえる。16世紀後半の京都の繁栄、祭礼や参詣する群衆が描かれた『 A 』(狩野永徳筆)は、その典型だろう。昨年、現代美術家の村上隆によって再構築され、京都市内の美術館で展示されたことで、あらためて注目を集めた。『 A 』の画面には、当時の貴賤上下の多様な人々、なかでも人形遣い、遊女、千秋万歳など、当時の芸能民がいきいきと描かれている。彼ら彼女らは、その後、近世にはどのような軌跡をたどったのだろうか。

元来、人形遣いは旅巡業で各地を訪問し、人形を操って祝福を垂れて歩く「祝言人」、いわば神の代理人といわれる民間信仰があった。しかし、中世になるとこれら呪術的芸能の系譜を引く人々は、「民を惑わす」者とされた。さらに、^(a)近世の身分秩序では、いわゆる「士農工商」におさまらない周縁身分に置かれることになった。^(b)「ハレ」の日には欲待されたが、日常に戻れば門口に立って金銭や食を乞う者として蔑視された。過酷な差別に耐えながら、生き抜くための生業として、人形芸が形成されていった。

人形芸は、中世以来の語り物である浄瑠璃や、近世になって B から伝来した三味線と組み合わせられて芸術的に完成された。これによって生まれた人形浄瑠璃は、近世を代表する芸能として、民衆に広く親しまれていく。やがて、^(c)人形芸に携わる人々のうちから、人形遣いとして大成する者も現れた。C が著した『曾根崎心中』は、この人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本として著名である。その内容は、醤油屋の使用人と遊女の心中事件に題材を取りながら、^(d)庶民の等身大の姿と社会的なしがらみとの葛藤を描いた町人文芸の代表格といえる。

だが人形浄瑠璃は、^(f)近世の後期にますます発達する歌舞伎に、徐々に圧倒されていく。歌舞伎は、現在では男性だけで演じられるが、もともとは近世初頭に女性を中心に始められた男女共演の芸能だった。歌舞伎の創始者は、出雲大社の巫女であったとされる出雲阿国である。17世紀初めの^(g)京都に現れて、異様な風体で目立とうとする「かぶき者」の姿で踊り、評判となった。その姿は、『阿国歌舞伎図屏風』にも描かれている。

その後、それを模倣して女芸人や遊女が演じる女歌舞伎が流行したが、彼女たちの開放的で官能的な舞踊は「風紀をみだす」として禁じられた。この遊女たちも、近世に入ってその性格を大きく変えた存在である。^(h)武家が集住する城下町などでは、武家奉公人のように家族をもたない単身の男性が増えたために、遊郭や遊女屋が建てられ、彼らの性の相手をする遊女もまた集った。

このように、⁽ⁱ⁾屏風などの絵画や工芸にわたる美術の領域、人形浄瑠璃や歌舞伎などの芸能からは、身分や位階、さらにはジェンダーをめぐる、当時の一見厳格な社会秩序を超えた民衆文化の領域が垣間見える。しかし同時に、そのような領域が規制されていくのも近世という時代であったことは、忘れてはならないだろう。

7 (日本史)

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 14

- ① 洛中洛外凶屏風 ② 聚楽第凶屏風
③ 祭礼凶屏風 ④ 職人尽凶屏風

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 15

- ① 蝦夷地 ② 朝鮮 ③ 琉球 ④ オランダ

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- ① 竹田出雲 ② 井原西鶴 ③ 上田秋成 ④ 近松門左衛門

問4 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- ① 本百姓は年貢以外にも、副業にかかる小物成、国役、勘定吟味役などが課せられ、零細な百姓には重い負担となった。
② 百姓は刀狩令によって武器の所持を禁じられていた一方で、武士は苗字を名のり、帯刀する特権をもっていた。
③ 城下町は、城郭を核に武家地・寺社地・田畑区・かわた町村など、身分ごとに居住する地区がはっきりと分けられた。
④ 各身分は家を単位に構成され、男性長子による家督相続が一般化すると、次男以下の男性や女性、養子は相続ができなくなった。

(日本史) 8

問5 下線部(b)に関連して、近世の被差別民についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

- ① 飢饉などで流浪した者や罪を犯した者は、「非人」とされて非人組織に入れられ、元の身分に戻ることはできなかった。
② 役者・講釈師、水呑・被官、山伏・陰陽師など寺社構成員以外の宗教者などは、士農工商に取まらない周縁身分であった。
③ かわたは、居住地や衣服・髪型などで他の身分と区別するために制限が設けられ、皮革の製造やわら細工などの手工業に従事した。
④ 幕末に出された「解放令」により、旧来の「えた・非人」は制度上は平民となったが、社会的差別は根強く残った。

問6 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

- ① 浄瑠璃作家の近松半二が『東海道四谷怪談』などすぐれた作品を残した。
② 京都で創設された竹本座において常磐津節という音曲が成長していった。
③ 滝沢馬琴が人形浄瑠璃用に書いた『仮名手本忠臣蔵』が評判をよんだ。
④ 竹本義太夫による人形浄瑠璃の語りや、民衆の共感を得て、人気を博した。

問7 下線部(d)に該当する演者として最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① 辰松八郎兵衛 ② 河竹黙阿弥
③ 坂田藤十郎 ④ 二条良基

問8 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 21

- ① 円山応挙が、『富嶽三十六景』などの絵画作品を描いた。
② 十返舎一九が、『浮世風呂』などの滑稽本を書いた。
③ 与謝蕪村が、川柳によって世相に対する風刺や皮肉をあらわした。
④ 為永春水が、『春色梅児誉美』などの人情本を書いた。

9 (日本史)

問9 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 22

- ① 式亭三馬の作品『雨月物語』が、歌舞伎の演目として有名になった。
- ② 浮世絵画家の歌川広重は、個性的な画風で歌舞伎役者を描いた。
- ③ 宝暦・天明期以降には回り舞台や田楽返しなどを備えた芝居小屋が生まれた。
- ④ 幕末になると歌舞伎をまねた式楽や人形芝居が、地方各地の娯楽となった。

問10 下線部(g)の地で営まれた文化についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23

- ① 京都の五山を中心に漢文学（五山文学）が最盛期を迎え、夢窓疎石の弟子の太宰春台らが活躍した。
- ② 書院造に草庵風の茶室を取り入れた権現造が工夫され、茶室と庭園が調和した桂離宮が京都に造られた。
- ③ 富裕な町衆や武将たちのあいだで茶の湯が流行したが、とくに秀吉が京都で催した北野大茶湯には大勢の町人が参加した。
- ④ 町人の山鹿素行が、京都堀川に私塾古義堂を開き、『論語』などを原文にそくしてわかりやすく講釈した。

問11 下線部(h)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24

X 遊女屋を集めた幕府公認の地区が、三都や長崎につくられた。
Y 門前町・宿場町のなかの料理屋や旅籠屋に事実上の遊女がおかれた。

- ① X — 正 Y — 正
- ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正
- ④ X — 誤 Y — 誤

(日本史) 10

問12 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 25

- ① 尾形光琳は装飾的な技法を取り入れ、色絵藤花茶壺をはじめとする高雅な作品によって琳派をおこした。
- ② 文禄・慶長の役で連行された朝鮮人陶工によって陶磁器の技術が伝えられ、有田では酒井田柿右衛門が赤絵を完成させた。
- ③ 南画の要素を取り入れて、温雅な筆致で『柳鷺群禽図屏風』を描いた池大雅が、四条派を立てた。
- ④ 朝廷絵所の土佐派からわかれた住吉如慶は、幕府の御用絵師となって『洛中洛外図巻』を描いた。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。なお、設問における史料には、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

かつて石炭は、日本にとり数少ない自給資源であり、近代化を支えた最大のエネルギー源だった。今ではすっかり忘れられた、この“燃える石”の歴史をたどってみよう。

商品としての石炭生産は江戸時代に始まるが、当時は小規模の開発にとどまっていた。ところが、幕末の開港と貿易の開始以降、船舶用の動力需要に応じて炭鉱開発が全国で進められた。特に九州では、洋式技術を導入して先進的な鉱業へ脱皮していく。当初官営だったこれらの炭鉱は、高島炭鉱が政商の A の手に渡って発展を遂げたように、技術導入や資本蓄積の面で重要な役割を果たした。北海道でも、明治初期から炭鉱開発が始まり、後に九州と並ぶ石炭鉱業の中心地として成長していく。

1880年代後半から、製糸・紡績などの軽工業を主体として産業革命が始まり、さまざまな産業に及んだ。それに伴い、石炭はまず工場の機械を動かす蒸気動力の燃料として不可欠となる。また、重工業の発展を支える鉄鋼自給のために、鉄鉱石と並ぶ必須の原料だった。日清戦争後、官営製鉄所が北九州に設けられたのは、一方で日本最大の炭田が背後に控え、他方で中国の B 鉄山のような優良産地に近いからだった。

膨脹する需要を満たすため、石炭輸送を担ったのが鉄道だった。明治期に急速に広がった鉄道業と鉄道網によって、炭田から消費地まで、重く嵩高い石炭の大量輸送が可能になった。また鉄道自体、大量の石炭を消費する産業でもあった。

アジアへの勢力拡大でも、炭鉱をはじめとする鉱山は日本の重要な獲得目標だった。例えば、1915年、当時の中国政府に対して日本の広範な権益を強引に認めさせた際も、(f) 鉱山採掘権は鉄道敷設権などと並んで重要な項目として盛り込まれていた。

炭鉱業は、第一次世界大戦時には成金を生むほどの好況だったが、1920年代以降、一転して不況にあえいだ。ところが、1930年代に日本経済が世界恐慌の影響から回復すると、今度は需要の激増に追いつかなくなり、30年代後半から戦時下にかけて国家による経済統制が加えられた。他の産業と同様、(g) 増産を妨げる、労働力不足に対して、さまざまな労働動員政策が進められたものの、(h) 戦時末期には生産態勢は崩壊状態に陥った。

敗戦後も、炭鉱業は経済復興を支える基幹産業として期待され、C が率いる連立内閣のもとでは、資財と資金を集中させる傾斜生産方式の対象とされた。しかし石油の利用が広がると、炭鉱業は急速に衰退に向かった。そのため、(i) 鉱夫の人員整理を進める企業と労働組合の間で激しい争議が起こるなど、労使間の対立は先鋭化した。それでも大勢には勝てず、2001年、国内で最後の炭鉱が閉山する。さらに現在では気候変動に対処するため、一層の脱炭素化が求められており、石炭の歴史は文字通りの一大転機にさしかかっている。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 26

- ① 古河 ② 三菱 ③ 住友 ④ 安田

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な地名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 27

- ① 大冶 ② 奉天 ③ 重慶 ④ 塘沽

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 28

- ① 石橋湛山 ② 幣原喜重郎 ③ 鳩山一郎 ④ 片山哲

問4 下線部(a)に関連して、次の表に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

29

表 横浜港における輸出入品割合

1860年度				1867年度			
	品目	割合 (%)	総額 (万ドル)		品目	割合 (%)	総額 (万ドル)
輸出	ア	65.6	395	⇒	ア	53.7	971
	茶	7.8			蚕種	22.8	
	油	5.5			茶	16.7	
	銅	5.3			その他	6.8	
	その他	15.8					
輸入	イ	52.8	95	⇒	イ	25.3	1491
	毛織物	39.5			毛織物	22.4	
	その他	7.7			米	10	
					武器類	9.9	
					綿糸	9	
				砂糖	8.6		
				その他	14.7		

(注) 割合は四捨五入をした数値であるため、合計しても100%にならない場合がある。

(『増訂 港都横浜の誕生』をもとに作成)

X 表のアには絹織物、イには綿織物が入るが、ともに時代が下ると割合が減少しているのは、五品江戸廻送令の対象となって統制を受けたためである。

Y 当初は輸出額が輸入額を上回っていたが、幕府が諸外国と結んだ改税約書によって輸入関税が引き下げられた結果、輸入超過に陥った。

- ① X — 正 Y — 正
- ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正
- ④ X — 誤 Y — 誤

問5 下線部(b)に関連して、近現代の北海道についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

30

- ① 開拓使が設置した札幌農学校では、モースがアメリカ式の大規模農法を教授し、本州から移住してきた屯田兵に普及させた。
- ② 樺太・千島交換条約の締結によって、日本は樺太全島の権利をロシアに譲る代わりに、国後島以北の千島列島を獲得した。
- ③ 北海道旧土人保護法が制定されたが、日本社会への同化も進められたため、アイヌの伝統的な生活の場はかえって奪われた。
- ④ 第2次安倍晋三内閣は、アイヌを先住民と明記したアイヌ文化振興法を成立させ、根強く残る差別の是正をめざした。

問6 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

31

- ① 企業勃興とよばれる会社設立ブームが起こったが、恐慌が繰り返したため、政府は支払猶予令を発して救済融資を実施した。
- ② 絹織物では、都市の大規模工場だけでなく、農村でも豊田佐吉らが考案した小型の力織機を導入して生産が盛んになった。
- ③ 日露戦後の明治末期には、猪苗代・東京間の送電も完成して本格的な電力事業が興り、大都市では電灯が普及し始めた。
- ④ 綿布などの輸出は増加したが、原料の綿花や工場用機械の輸入も増加した結果、貿易収支は赤字の状態が続いた。

問7 下線部(d)に関連して、工作機械の国産化に初めて成功した日本企業として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

32

- ① 池貝鉄工所
- ② 三菱長崎造船所
- ③ 日本窒素
- ④ 日本製鋼所

問8 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

33

- ① 内務省は、殖産興業政策に弾みをつけるため、新橋・横浜間に鉄道を敷設して開港場と大都市を結びつけた。
- ② 松方デフレを経て寄生地主化した大地主は、小作料収入を公債や株式に投資して、鉄道会社の設立を支えた。
- ③ 第1次西園寺公望内閣は日本鉄道会社を設立し、日露戦争後に高まる国防の観点から、全国の民営鉄道を国有化した。
- ④ 明治末期の都市では路面電車が普及し、都心の発着駅の百貨店と沿線の宅地開発とを組み合わせさせた私鉄経営が発達した。

問9 下線部(f)に関連して、次の史料に関する以下の各問に答えなさい。

史料

第一号

第一条 支那国政府は、独逸国が D 省に関し条約其他に依り支那国に対して有する一切の権利利益譲与等の処分付、日本国政府が独逸国政府と協定すべき一切の事項を承認すべきことを約す。

第二号

第二条 日本国臣民は、南満州及東部内蒙古に於て各種商工業上の建物の建設又は耕作の為必要なる土地の賃借権又は其所有権を取得することを得。

第四条 支那国政府は、南満州及東部内蒙古に於ける鉱山探掘権を日本国臣民に許与す。其探掘すべき鉱山は別に協定すべし。

第五号

一、中央政府に政治財政及軍事顧問として有力なる日本人を傭聘せしむること。

(『日本外交年表並主要文書』上)

(1) 史料中の空所Dに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

34

- ① 山東
- ② 青島
- ③ 吉林
- ④ 福州

(2) 史料の内容とその歴史的背景についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

35

- ① 日本政府の最後通牒に屈してこの文書を承認した袁世凱政府を打倒するため、学生や労働者による五・四運動が起こった。
- ② 第五号の項目については、日本政府の直接的な影響力拡大につながるため、当時の中華民国政府の反対により、撤回された。
- ③ 第一号・第一条にある旧ドイツ権益について、日本政府はワシントン会議で石井・ランシング協定の維持と引き替えに中国に返還した。
- ④ 第二号・第二条にある日本の権益強化の承認を受けて、日本の紡績業は本格的に満洲に進出し、在華紡とよばれる現地紡績会社を展開した。

17 (日本史)

問10 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

36

- ① 日中戦争下、軍需産業に必要な鉄鋼増産のため、官営と財閥系の製鉄会社が合同して国策会社が設立され、鋼材自給が達成された。
- ② 膨脹する軍事費を賄うため、政府は従来の財政均衡主義を覆し、臨時資金調整法を制定して赤字国債の発行に踏み切った。
- ③ 政府は戊申詔書を発布して消費の引き締めをはかるとともに、配給制や切符制を導入したが、実際には闇取引が横行した。
- ④ 政府は小作料に上限を設け、地主の利益を制限してでも小作人の増産意欲を刺激して食糧増産をめざした。

問11 下線部(h)についての記述として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

37

- ① 国家総動員法にもとづいて国民徴用令が制定され、労働者の軍需産業への強制的動員が推し進められた。
- ② 人手不足の農村に都市の労働者を派遣するため、全国の産業組合を統合して大日本産業報国会が組織された。
- ③ 炭鉱などの鉱山や土木工事現場などでは、労務動員で連れてこられた朝鮮人や強制連行された中国人が働かされた。
- ④ 女子挺身隊や勤労働員された男女の生徒・学生たちが、軍需工場などで男性労働力の不足を補う重要な担い手となった。

問12 下線部(i)に関連して、第二次世界大戦後の労働問題・労使関係についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

38

- ① 朝鮮戦争に反対する労働組合運動が活発になるなかで起きた松川事件を理由にして、GHQは全国でレッド・パージを実施した。
- ② 労働運動では、日本労働組合総連合会の指導下で春闘方式の賃上げ闘争が1950年代なかばから始まり、以後、長く定着した。
- ③ 安保闘争と同時期に起こった三池闘争では、三池鉱山の労働者が長期のストライキで企業側に抵抗したが、最終的に敗北した。
- ④ 石油危機によって戦後初めてマイナス成長になると、企業はリストラとよばれる人員削減などの経営改革を推し進めた。